

第4回

令和 6年 8月24日(土) 午前10:00~12:00

教材番号：25 お父さんの子育てトーク！

～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～ (アレンジ版)

実施機関・団体等	社会福祉法人 さくら福祉会 児童家庭支援センター コスモス
参加者数	お父さん 10名 (別室にて、お母さんも同伴OKの託児あり)
ファシリテーター	メイン: 中丸 直見さん サブ: 永谷 紀美子さん、西田 弘展さん、藤嶋 教子さん、森本 美鈴さん

● 講座の様子

目的

昨年度の「お父さんの子育てトーク」に参加した人や親プロ参加のお母さんから『お父さんの集まれる場を！』とリクエストを受けた。参加者に、日頃の奮闘や家族のルール・子育ての悩みなどを本音トークで楽しんでもらいながら、もっともっと「お父さん」を楽しんでもらいたい。

1. オリエンテーション

あいさつ、親プロの説明、ファシリテーターを紹介。



2. アイスブレイク

絵本「へんなおにぎり」、「かえるくんにきをつけて」をメインファシリテーターが朗読。参加者に好きな度合い順に喋らずに並んでもらい、簡単な自己紹介。

(この2冊を朗読をした理由)

- ・少し不思議な世界観のある本を読んで、まずはリラックスしてもらおう
 - ・お父さんに自分の好きな絵本を読んでもらいたい
- グループに分かれて席に着き、グループ内で自己紹介をしてもらう。



3. アレンジ版のプログラムに沿って進行。

「父親」であることを最初に実感したのはいつですか？その時の気持ちは？や日常生活の中で「楽しかったこと」「うれしかったこと、また「悩み」や「疑問」を付箋を使ってグループ内で話し合った。グループごとの結果を全員で共有した。

- ・3つのグループが偶然子どもの年齢の近いお父さんに分かれた。その結果、子育ての喜び、楽しみ、悩みなどが同じで、話が盛り上がり共感できた。



4. 最後は、参加者に1人ずつ「今日の感想」を発表してもらった。

メインファシリテーターから絵本のお土産をいただく。

「お父さんが自分の好きな本を直感で選んでもらう」と、悩みながらもとても楽しそうに選ばれていました。



お母さんと一緒に工作やおもちゃで楽しむ！

● ファシリテーターの感想

- ・帰宅後、ママとの会話が盛り上がりそうな会になった。
- ・お父さんの会の必要性を感じた。
- ・講座を進めるうちに、予定していた展開と違ってきたが、メインとサブが相談・連携をして時間内に終わることができた。臨機応変な対応ができた。
- ・アイスブレイクでの朗読は、講座に入るための良い導入になっていた。
- ・参加者だけでなく、ファシリテーターも3つの約束を意識することが大切。そのことを参加者に伝えることで、安心感を与える。

■ 主催者から

お母さんと子どもさんが、託児室で2時間待ちくたびれていて、終了間近には表情が重たくなっていたが、相談員が、「お父さん達は素敵な発言をして、講座を楽しまれていらっしゃいますよ」と伝えると、一瞬で表情が明るくなり安心をされた。自宅に帰られた後、今日の「家族内で会話」のひとつになるといいな・と感じた。